

救援物資輸送終了のご報告

皆様のおかげを持ちまして、心暖まる沢山の救援物資を大船渡市に無事届ける事ができました。

なぜ、大船渡市にかと申しますと、昭和40年～44年に旧沢内病院で沢内の保健行政に大変貢献していただいた保健師の一人に千田和可さんという人がおりました、陸前高田市高田町に在中でした。

この度の地震で安否情報を確認していただいた結果、埼玉県の和可さんの妹さんと連絡がとれて大船渡に避難していることがわかりました。さっそく保健師仲間であった深澤久子さんと共に3人で21日（月）大船渡に向い、救援物資と共に和可さんがいつでも保健活動ができるように血圧計・体温計・薬e t cを届けました。元気な和可さんにお会いすることができ、私達も大変安心しましたが和可さんの旦那様は、一緒に逃げる時、民生委員がゆえに公民館にむかい行方不明になり、その後死亡が確認されました。

有線放送で物資の呼び掛けをした結果、80人以上の沢山の人達から心暖まる物資をいただき、27日（日）和可さんが仲介の労をとって下さったおかげで「日本キリスト教団」大船渡教会の一階にマイクロバスに満載の救援物資を「晟雄の会」メンバー9人により無事届ける事が出来ました。せっかく物資を運んでも場所により活用されない時もあるそうですが、この教会から必要な物資を必要な場所に届けて下さるとの事で大変安堵しております。

帰りは大船渡から45号線を南下し、陸前高田市のかつての中心街を通り、現実の厳しさを体で感じて、人生観が大きく変わる思いで帰ってまいりました。

「命」の大切さ、そして、私達の西和賀町の良さを再認識する一日でもありました。

御協力して下さったすべての皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

平成23年3月28日
NPO法人「深澤晟雄の会」



21日千田和可さんと再会
(大船渡赤崎町)



和可さんがお世話になっている菊池家の
人達との写真(大船渡赤崎町)



沢山の物資



バイクで保健活動をする保健婦さん。左から田中トシ
さん、高橋ミヨさん、深澤久子さん、千田和可さん



教会の2階で昼食のカレーライスをいただきました。



マイクロバスから物資を手渡して下ろしました



教会



搬入が終わり教会前での記念写真



陸前高田市の中心街。
奥の建物はキャピタルホテル



高田病院